

平成 11 年度

ガンカモ科鳥類生息調査報告書

平成 12 年 2 月

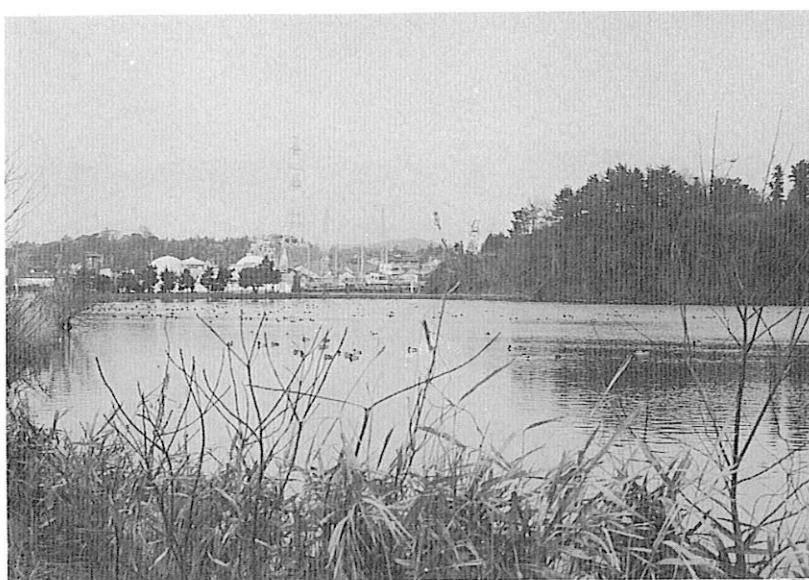
福 井 県



(1) 福良ヶ池



(2) 北潟湖



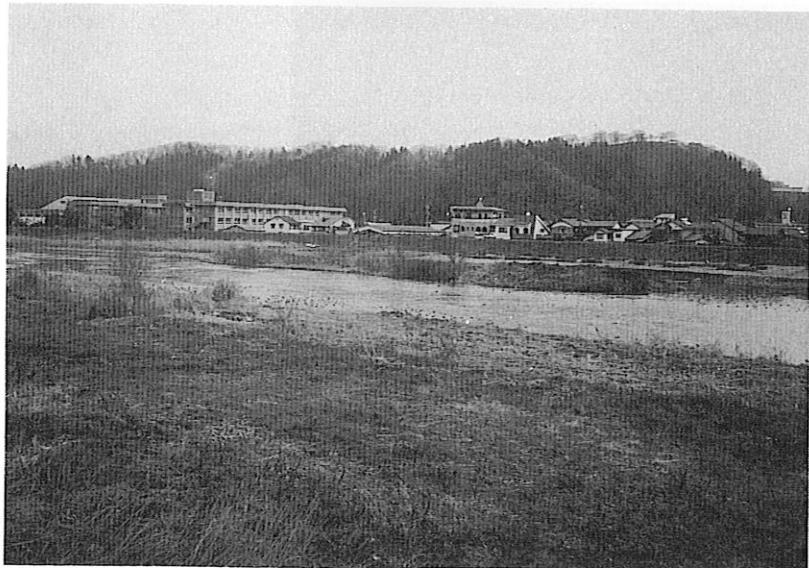
(3) 加戸大堤



(4) 九頭竜川河口域



(5) 九頭竜川中流域



(6) 日野川

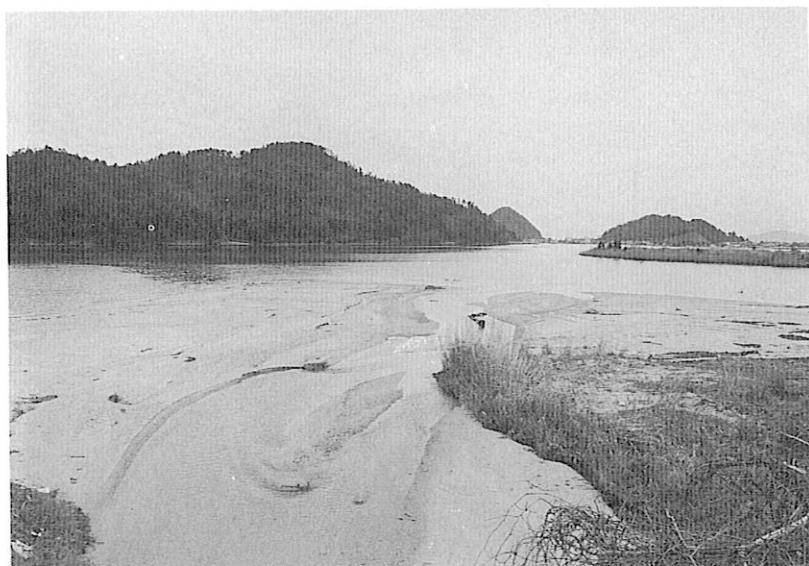


監督 (0.1)

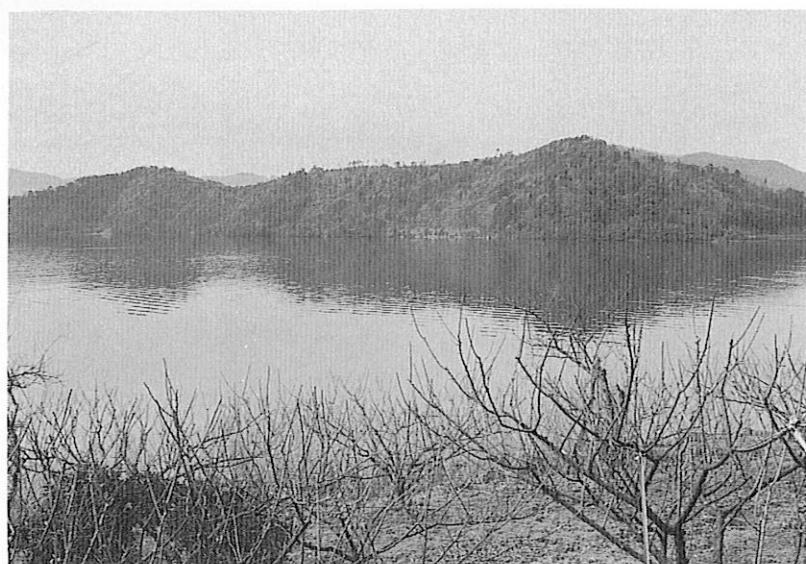
(7) 猪ヶ池



(8) 阿原ヶ池



(9) 久々子湖



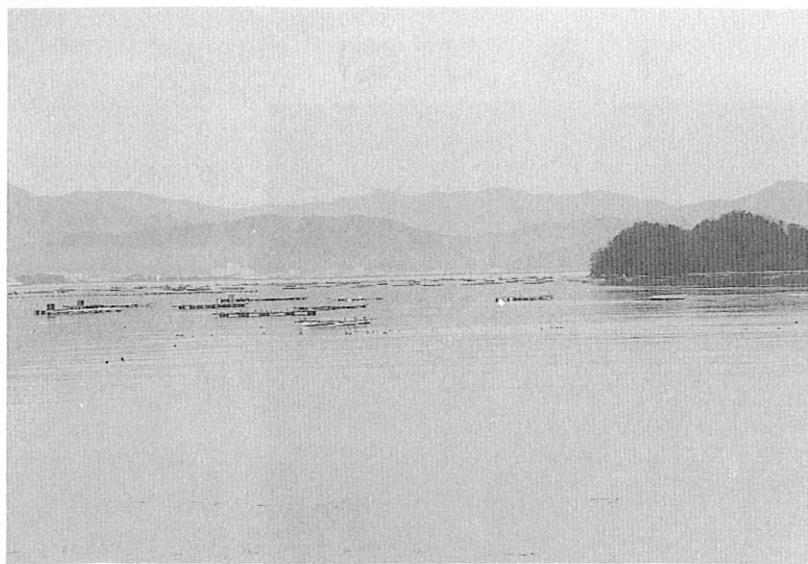
(10) 菅 湖



(11) 三方湖



(12) 水月湖



(13) 小浜湾



(14) 足羽川



(15) 福井新港

(16) 坂井平野



はじめに

ガンカモ科の鳥類は、主として河川、湖沼、海岸などの水域で生息している。これらの生息地は自然環境の変化が顕著に現れるため、それに応じてガンカモ類の生息状況に影響がでるであろう。

また、ガンカモ科の多くの種は狩猟鳥として重要な位置を占め、野生鳥獣の保護と人間生活の共存のためには、その管理において長期にわたる科学的な資料を必要とする。

そこで、ガンカモ科鳥類の渡来数の動態や生息環境の変化を把握するために調査分析を行った。

この調査は、福井県が日本野鳥の会福井県支部へ委託して実施したもので、調査結果が本県におけるガンカモ科鳥類の越冬期の生息状況を明らかにし、かつ鳥獣保護政策に資することができれば幸いである。

なお、報告書をまとめるにあたり、調査に協力をいたいた福井県支部会員各位に対して心からお礼申し上げる次第である。

1. 調査の概要

(1) 経過

この調査は、昭和44年度から林野庁（昭和48年度から環境庁）の指示により、毎年1月15日を中心に取り組んでいるもので、今回は31回目である。昭和52年度からは、その業務の委託を請けた日本野鳥の会福井県支部が主要な調査業務として取り組んでいる。

(2) 調査の目的

福井県内に渡来するガンカモ科鳥類の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥類保護行政に資するものとする。

(3) 調査実施者

福井県の委託を請けて、日本野鳥の会福井県支部が実施した。調査員はガンカモの識別能力があり、また過去にも調査経験のある会員71名で構成した。

(4) 調査日

坂井平野については平成12年1月9日、その他の調査地については平成12年1月16日に調査を実施した。

(5) 調査地

福井県から指定された湖沼、河川、内湾、平野部などの計16箇所で調査を実施した（第1図、第2図）。

(6) 調査及び分析

調査地の全域をカバーするように観察地点をいくつか設定し、調査地域内で観察されたガンカモ科鳥類の種とその個体数を記録した。各調査地には、3～11名を配置し、双眼鏡（8～20倍）及び望遠鏡（20～40）で種を判定し、その個体数を計数器により記録した。また、面積の広い調査地においては無線機などを使用し、鳥の移動による重複カウントを防止した。

調査結果をもとに、種構成、個体数、生息状況などの変化について過去の調査記録と比較し分析を行った。

2. 調査の結果と考察

(1) 概要

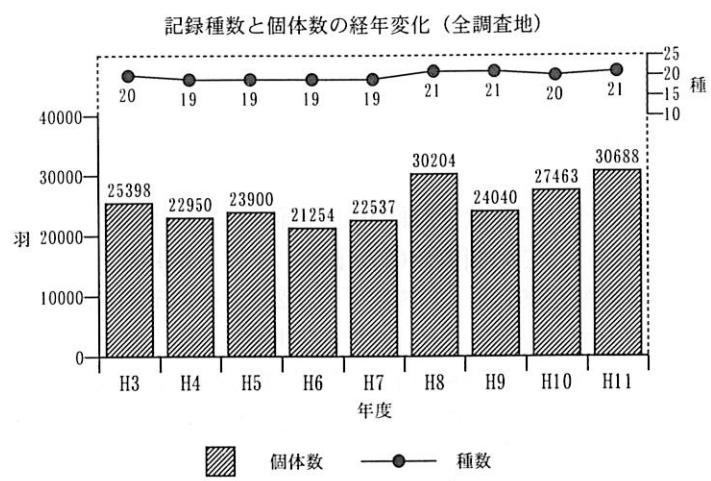
調査の行われた1月9日は、気温が1°Cで曇りがちの天候であり、また、16日は、気温が-1°C～7.5°Cで曇りもしくは晴れの天気となった。ともに、視界も良く順調に調査は行われた。

計16箇所の調査地で、計21種30,688羽が記録された。昨年度に比較して、種数で1種増加、個体数では3,225羽が増加した。個体数が3万羽を超したのは平成8年度調査以来のこととなった。

計2種2,138羽のガン類と計18種28,537羽のカモ類が記録され、本年度はハクチョウ類が1種13羽記録された。

昨年度と比べ、個体数が大幅に増加した種は、マガソ、マガモ、オナガガモなどであり、逆に減少した種はヒシクイであった。

また、優占度の高かった種は、マガモ(54.3%)、コガモ(11.3%)、カルガモ(10.1%)、ヒドリガモ(7.9%)、マガソ(6.6%)などであった。逆に個体数の少なかった種は、本調査上初認となったシノリガモ(1羽)、アメリカヒドリ(1羽)、オシドリ(15羽)、ホオジロガモ(15羽)、ミコアイサ(34羽)、カワアイサ(49羽)、ヨシガモ(67羽)、ハシビロガモ(87羽)、トモエガモ(94羽)などであった(第3表)。



(2) 調査地別

種数では、菅湖と日野川で最も多い13種が記録され、次いで北潟湖、三方湖、足羽川での12種となつた(第1表)。昨年度に比べ種数が増加した調査地は9箇所あり、3種増加した北潟湖、小浜湾、2種増加した日野川、猪ヶ池、菅湖、三方湖、足羽川などであった。逆に減少したのは5箇所であった。

個体数では、昨年度と同様、日野川で最も多い6,040羽が記録され、次いで菅湖の3,894羽、足羽川の2,734羽、九頭竜川中流域の2,465羽の順となつた(第1表)。昨年度に比べ個体数が増加したのは11調査地で、水月湖(1,911羽増)、日野川(1,827羽増)、足羽川(827羽)などであった。逆に個体数が減少したのは5調査地で、そのうち加戸大堤(1,036羽減)で大きく減少した。

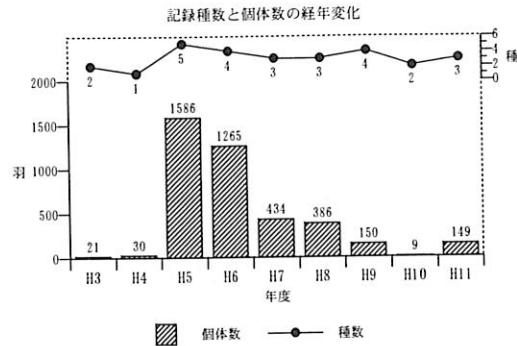
また、三方五湖全体では、昨年度、一昨年度と記録個体数が大きく減少したが、本年度は、平成8年度のレベルまで個体数を戻している。

【福良ヶ池】

昨年度に比べ、種数で1種、個体数で140羽増加した（右図）。この変化は、マガモが125羽増加したことによく起因している。

当調査地では、池の面積(3ha)が狭いためカモ類の警戒心が強く、その個体数は毎年安定していない。その状況を考慮しても、マガモの記録個体数は平成6年度をピークに減少傾向にあるほか、キンクロハジロも4年連続して記録されていない。

なお、ヒシクイが16羽記録されたが、全て上空通過である。



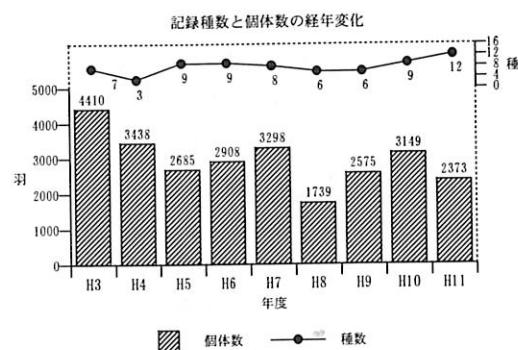
【北潟湖】

昨年度に比べ、種数で3種増加、個体数は766羽減少した（右図）。この個体数の変化は、マガモが494羽、カルガモが551羽、ヒドリガモが263羽それぞれ減少したもので、反面、コガモは266羽増加した。

当調査地では、記録種数および個体数が減少傾向にあったが、一昨年度と昨年度は増加したものの減少傾向にあるものと認められる。

種別にみると、ヒドリガモの個体数が、平成7年度以降は安定して記録されている。

なお、マガンが126羽、ヒシクイが16羽記録されたが、全て上空通過の個体であった。

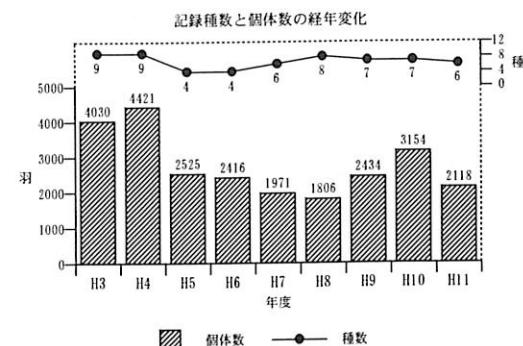


【加戸大堤】

昨年度に比べ、種数で1種、個体数で1,036羽減少した（右図）。この個体数の変化は、マガモが720羽、コガモが366羽減少したことによく起因している。

当調査地では、北潟湖同様、個体数が減少傾向にある。

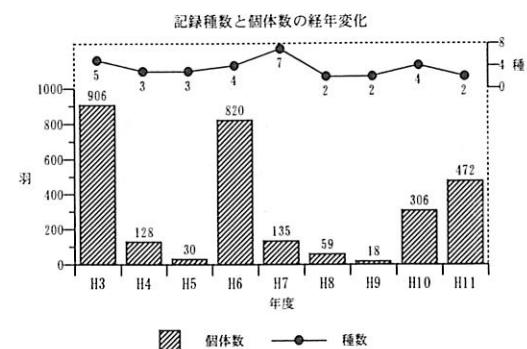
また、当調査地は、9haとさほど大きくない池であるが、カモ類の密度は235羽/haと県内で最も高い所となっている。



【九頭竜川河口域】

昨年度に比べ、種数で2種減少し、個体数で166羽増加した（右図）。これは、マガンが446羽付近の水田で確認されたもので、ヒシクイについては、昨年度の297羽から26羽と大きく減少している。

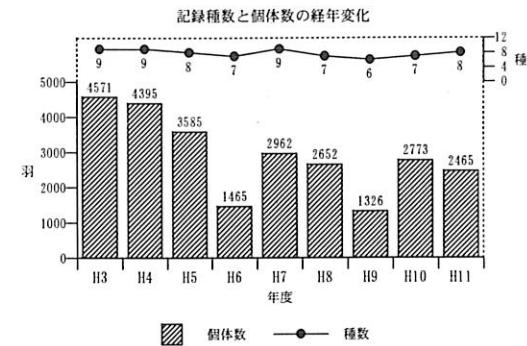
当調査地は、県内でのヒシクイの主な渡来地となっており、河川敷内と近隣の水田で採餌しているようである。しかし、平成7年度から3年続けて調査日には河川敷内で観察されなかったが、本年度は、昨年度に引き続き26羽が記録された。また、1月9日に実施した坂井平野のガン類調査では、近隣の水田で50羽が確認されており、ダブルカウントされた可能性がある。



【九頭竜川中流域】

昨年度に比べ、種数で1種増加し、個体数で308羽減少した（右図）。この個体数の変化は、カルガモが253羽、コガモが43羽、マガモが50羽それぞれ減少したことによる。

当調査地の記録個体数は、平成2年度をピークに減少傾向にあり、今年度もその傾向に変化が見られなかった。

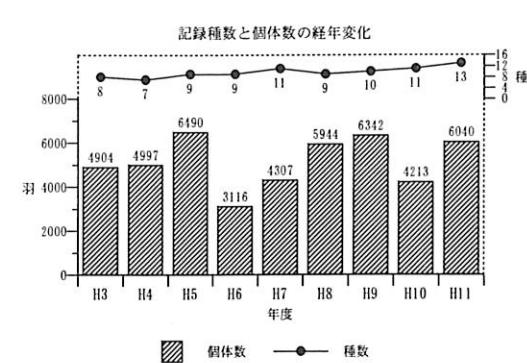


【日野川】

昨年度に比べ、種数で2種増加し、個体数で1,827羽増加した（右図）。この個体数の変化は、マガモが945羽、カルガモが354羽、オナガガモが336羽増加したことによる。

当調査地の記録個体数は、平成7年度以降、全調査地の中で最も多い記録を継続している。また、コハクチョウが平成6年度から昨年度を除き連続して確認されている。

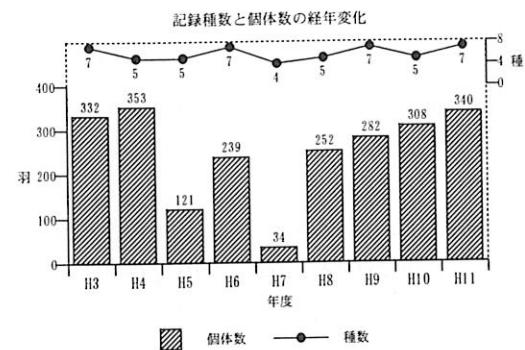
なお、当調査地では、カモ類の生息場所がヨシ原の多い鯖江市西部に移る傾向にあり、この環境面での保全が望まれる。



【猪ヶ池】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数では32羽増加した（右図）。

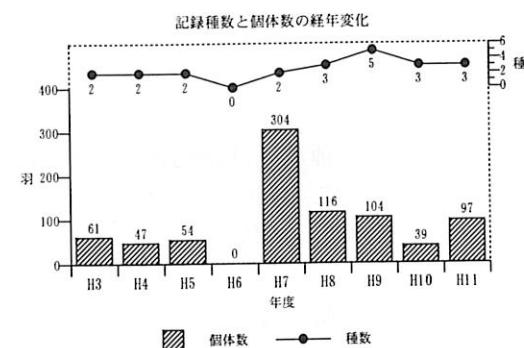
当調査地では、平成7年度に記録種数と個体数が減少したが、平成8年度以降増加する傾向にある。しかし、オシドリの記録個体数は、平成8年度には56羽記録されたにもかかわらず、一昨年度は、10羽、本年度は、昨年度と同じ4羽の記録しかなかった。



【阿原ヶ池】

昨年度に比べ、種数は同じで、個体数で58羽増加した（右図）。これは、マガモが33羽増加したことに起因している。また、オシドリは、平成10年度以降、引き続き本年度も記録された。

当調査地は、積雪の影響を大きく受けるため、記録個体数は不安定なものとなっている。

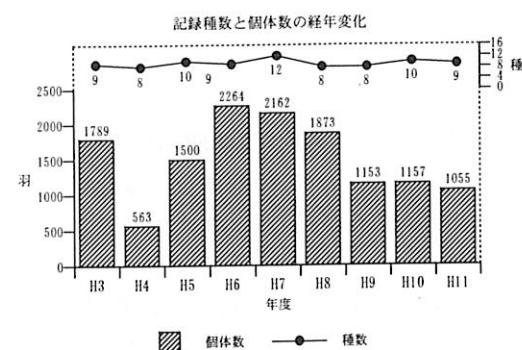


【久々子湖】

昨年度に比べ、種数で1種、個体数で102羽減少した（右図）。この個体数の変化は、ホシハジロが104羽、キンクロハジロが129羽、スズガモが58羽それぞれ減少したことに起因している。

当調査地の記録個体数は、平成7年度から3年連続して減少し、平成9年度からは、横並びとなっている。

周辺の開発が三方五湖の各湖で進んでいることから、その因果関係を含め個体数の変化が注目される。

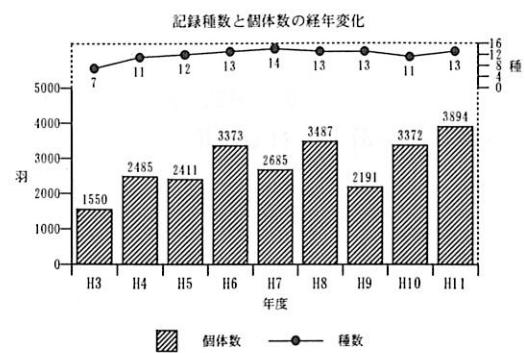


【菅 湖】

昨年度に比べ、種数では2種、個体数では522羽増加した(右図)。この個体数の変化は、マガモが492羽増加したことに起因している。

当調査地の記録種数は、一昨年度から、全調査地のなかで最も多い記録であったが、昨年度同様、日野川と同数であった。

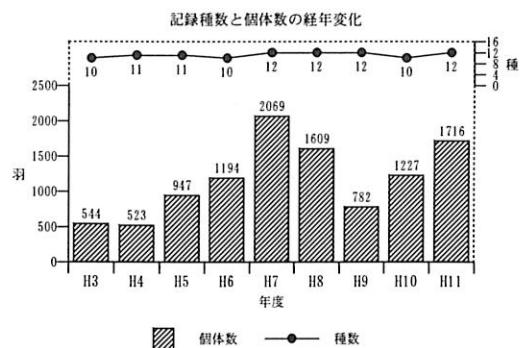
また、当調査地の記録個体数はマガモの個体数に左右されているが、スズガモ、キンクロハジロが平成8年度以降減少傾向にある。



【三方湖】

昨年度に比べ、種数では2種、個体数では489羽増加した（右図）。この個体数の変化は、カルガモが209羽増加したことに起因している。

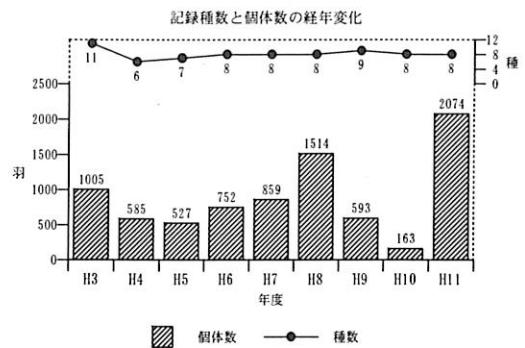
当調査地の記録個体数は、平成5～7年度にかけて増加傾向にあったが、平成9年度以降は、大幅に減少し、その後、増加傾向にある。しかし、海ガモ類の個体数が減少する傾向にある。



【水月湖】

昨年度に比べ、種数は同数で、個体数で1,911羽増加した(右図)。この個体数の変化は、マガモが1,607羽増加したことに起因している。

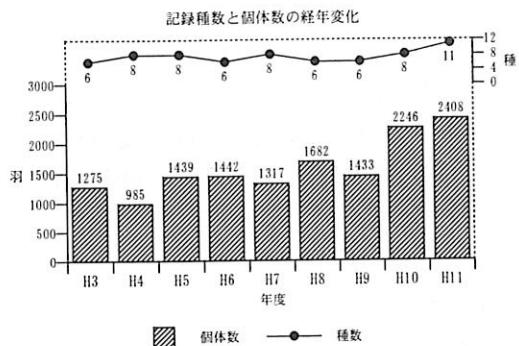
当調査地の記録個体数は、平成8年度に大幅に増加し、昨年度は、平年並みに戻っていた。しかし、本年度は、昭和61年度以降2番目の個体数を記録した。



【小浜湾】

昨年度に比べ、種数で3種、個体数で162羽増加した(右図)。この個体数の変化は、マガモが402羽減少したもの、ヒドリガモが232羽、スズガモが214羽、ホシハジロが137羽それぞれ増加したことに起因している。

当調査地の記録個体数は、多少の変動はあるが1,500羽前後で比較的安定していたが、本年度は、昭和61年度以降最高の確認となった昨年度を上回り増加傾向が見られる。

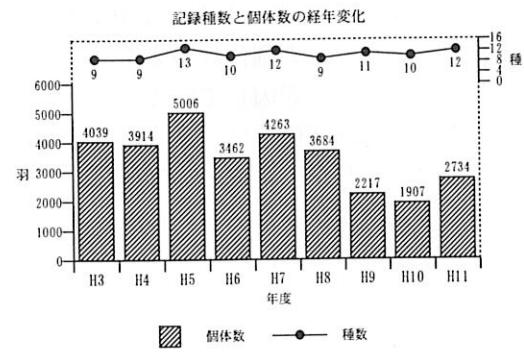


【足羽川】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で827羽増加した(右図)。この個体数の変化は、ヒドリガモが237羽、コガモが201羽、マガモが182羽それぞれ増加したことに起因している。

当調査地は、平成7年度以前も野鳥の会福井県支部で独自に調査が行われている。その結果も含めると、記録個体数は、平成5年度以降減少傾向にある。

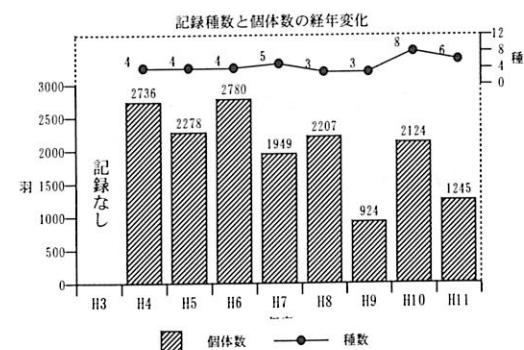
また、当調査地はハシビロガモやカワアイサの県内の主要な渡来地になっており、ハシビロガモについては平成8年度以降減少傾向が見られ、今後の変化が注目される。



【福井新港】

昨年度に比べ、種数で2種、個体数で879羽減少した(右図)。この個体数の変化は、マガモが716羽減少したことによる。

当調査地は、平成7年度以前も野鳥の会福井県支部で独自に調査が行われている。その結果も含めると、平成9年度に次ぐ少ない確認数であった。

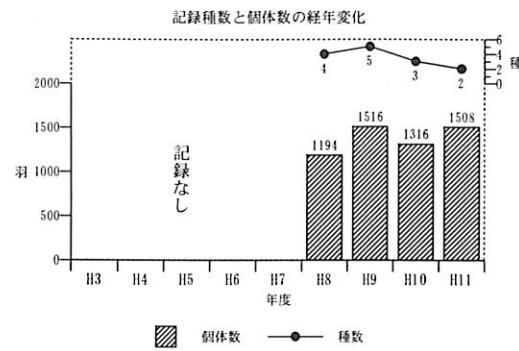


【坂井平野】

昨年度に比べ、種数で1種減少し、個体数で192羽増加した（右図）。この個体数の変化は、マガモが397羽増加したものとの、ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）が200羽減少したことによると起因している。

昨年度は、積雪のため、個体数を減らしたが、本年度は石川県片野鴨池からガン類1,700羽程度が早朝飛来したのが確認された。また、ハクチョウ類は本年度も記録されなかった。

ヒシクイについては、16日に実施された九頭竜川河口流域とダブルカウントとなるが、年末年始には、800羽程度が確認されていたので、年明け後、大多数が採餌場所を変えたものと考えられる。



指定調査地以外の地域でも調査を実施したので、記録を参考までに掲げておく。

【九頭竜川上流域】

1月16日に、3種110羽が記録された。55羽のカワアイサは、当地を特徴づけるものである。

<和泉村 九頭竜ダム> マガモ 2羽、カワアイサ 20羽

<和泉村 鶯ダム> マガモ 21羽、カワアイサ 4羽

<和泉村 湯上～谷戸口> カワアイサ 9羽

<大野市 仏原ダム> マガモ 27羽、カルガモ 1羽、カワアイサ 13羽

<大野市 打波～西勝原> カワアイサ 9羽

<勝山市 下荒井～花房> マガモ 4羽

【真名川ダム】

1月15日に、6種1,328羽が記録された。当地は今回初めて調査を実施したが、個体数が多く今後も継続して調査すべきであろう。

マガモ 926羽、カルガモ 287羽、コガモ 90羽、オナガガモ 10羽、ホシハジロ 8羽
カワアイサ 7羽

【鯖江市 河和田川】

オシリドリ 17羽

3. ガンカモ科以外の鳥類

ガンカモ科の鳥類以外に、計13目31科63種が記録された（第2表）

4. 過去における結果の集計

今回の委託調査にあたり、昭和44年度以降、福井県内で実施された調査資料を年度別に集計し、対比し参考とする（第3表、第3図、第4図）。

ガンカモ科鳥類生息調査事業実施要領

1. 目的

本事業は、福井県内に渡来するガンカモ科の渡来状況に関する基礎資料を収集し、鳥獣保護行政に資するため実施する。

2. 調査実施者

本事業は、日本野鳥の会福井県支部に委託して実施するものとする。

3. 調査地

(調査地は、別紙参照で省略する)

4. 調査方法

調査は、それぞれの調査地に定点及びルートを設けて、その地域に生息するガンカモ科鳥類の種類別渡来数及び生息状況等について行うものとする。

5. 調査期日

平成12年1月16日(日)とする。ただし、天候または調査員の都合により同日における調査が不可能な場合は、1月15日から17日の間に実施して差し支えない。

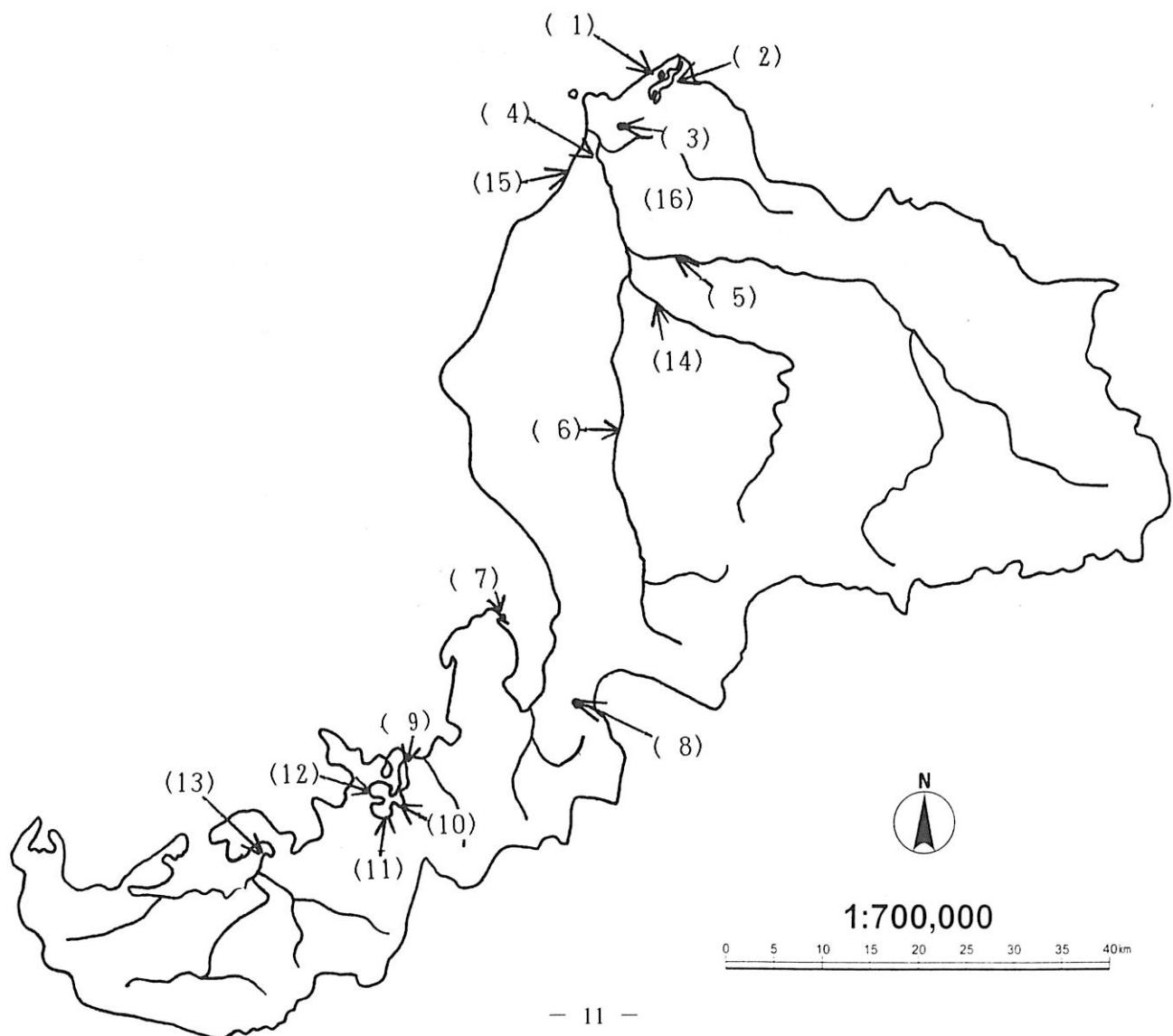
調査時間帯は、ガンカモ科鳥類の渡来数の最も安定する午前中とする。

第6項、7項については省略する。

第1図

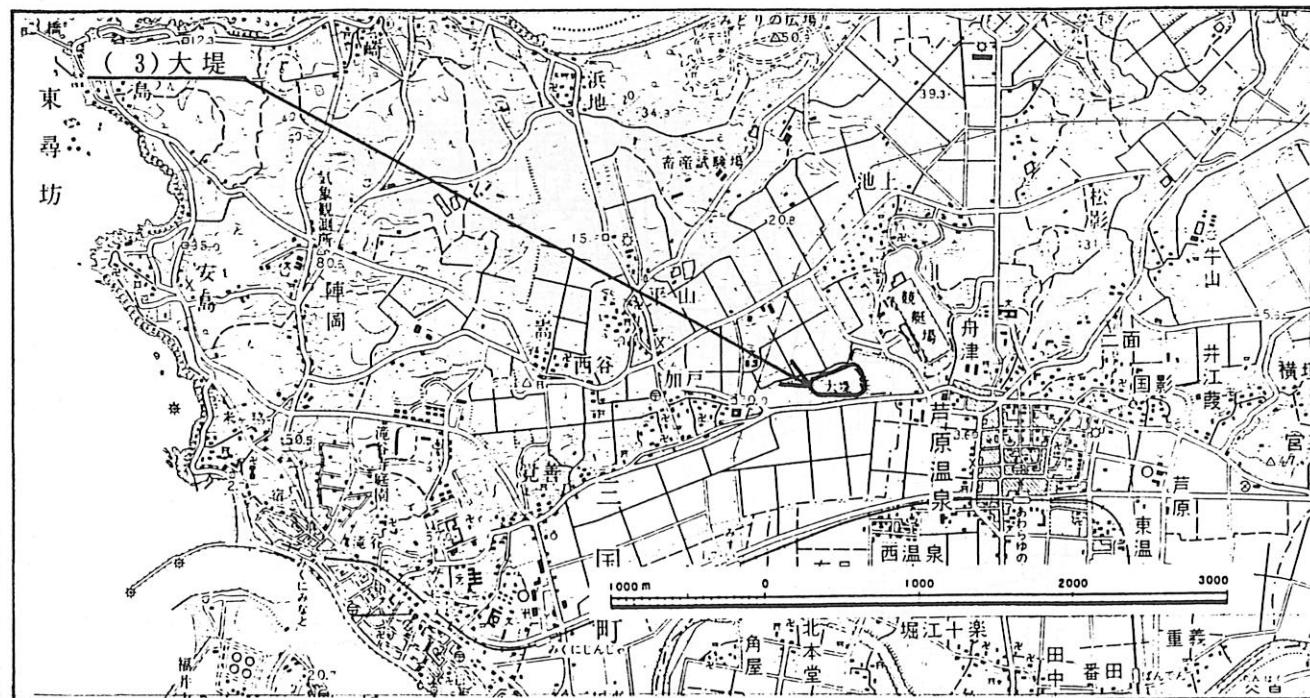
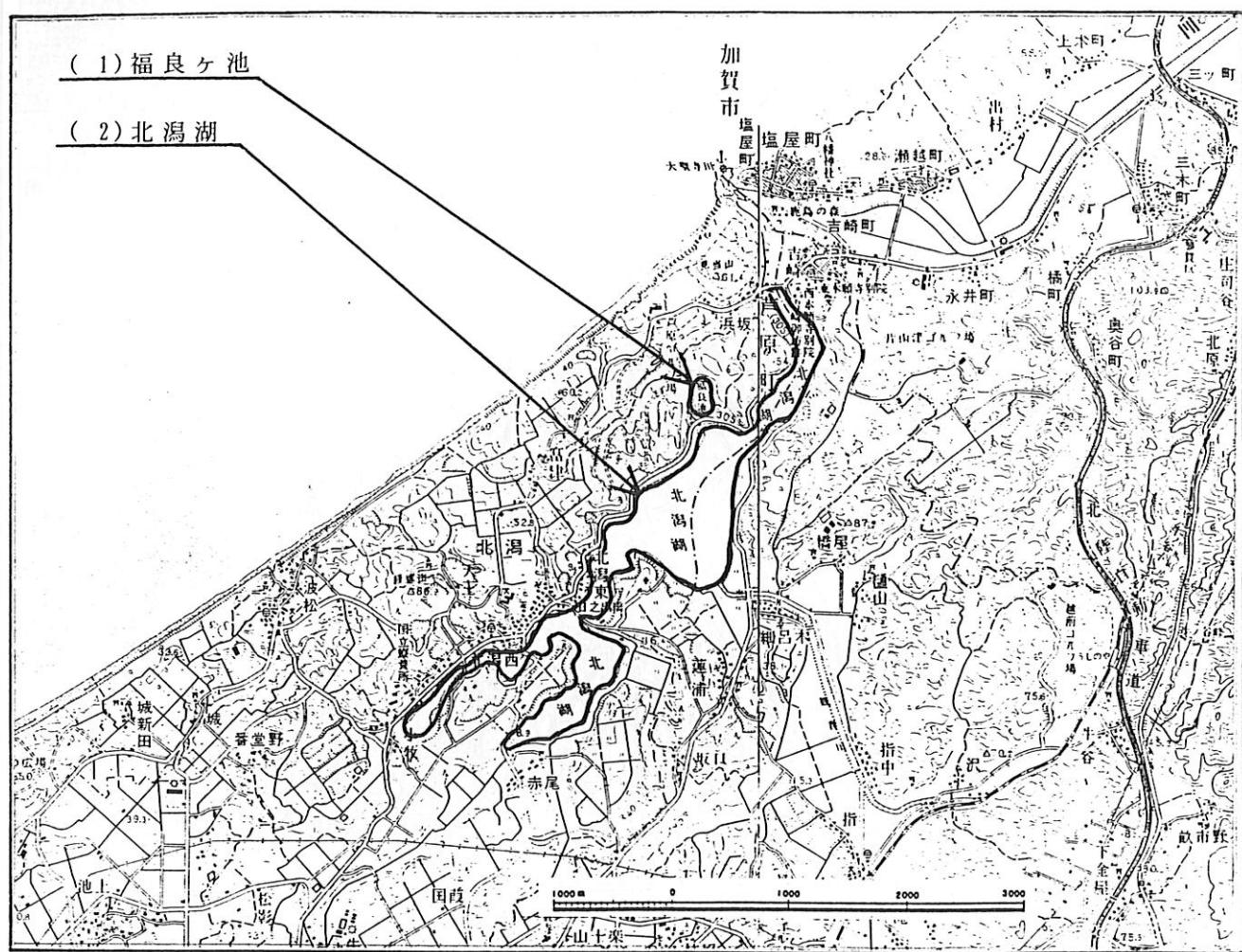
平成11年度 ガンカモ科鳥類生息調査地

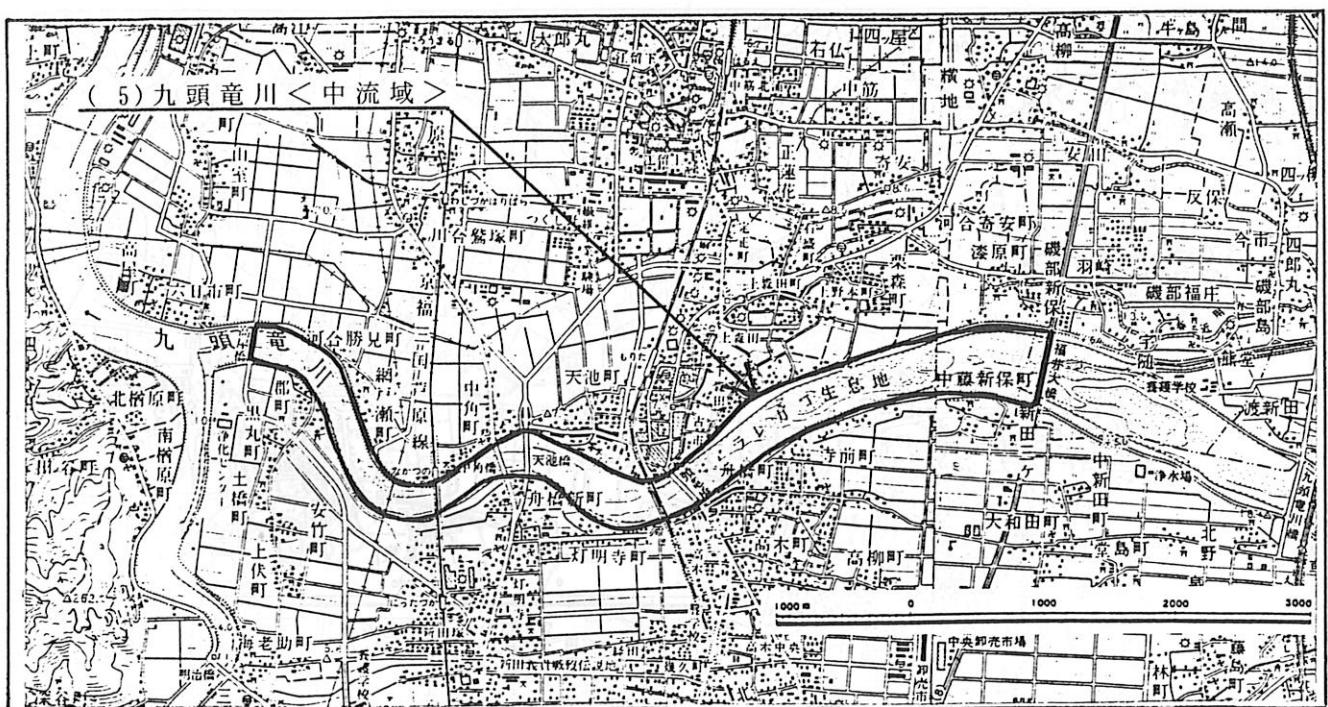
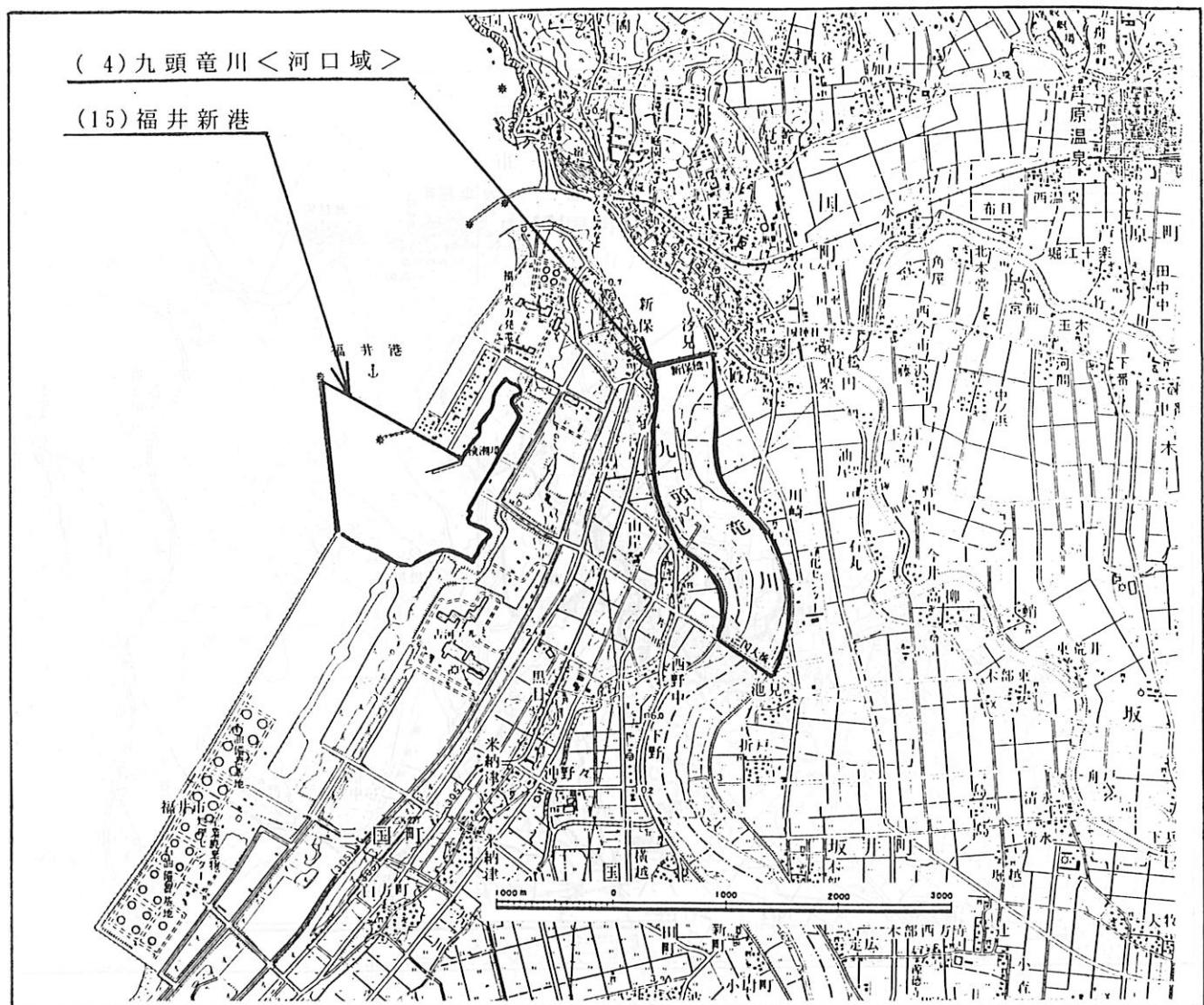
- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 福良ヶ池 | (芦原町) |
| (2) 北潟湖 | (金津町・芦原町) |
| (3) 大堤 | (三国町) |
| (4) 九頭竜川<河口域> | (三国町) |
| (5) 九頭竜川<中流域> | (福井市) |
| (6) 日野川 | (武生市・鯖江市) |
| (7) 猪ヶ池 | (敦賀市) |
| (8) 阿原ヶ池 | (敦賀市) |
| (9) 久々子湖 | (美浜町) |
| (10) 菅湖 | (三方町) |
| (11) 三方湖 | (三方町) |
| (12) 水月湖 | (三方町) |
| (13) 小浜湾 | (小浜市) |
| (14) 足羽川 | (福井市) |
| (15) 福井新港 | (福井市) |
| (16) 坂井平野 | (坂井町・芦原町・三国町) |

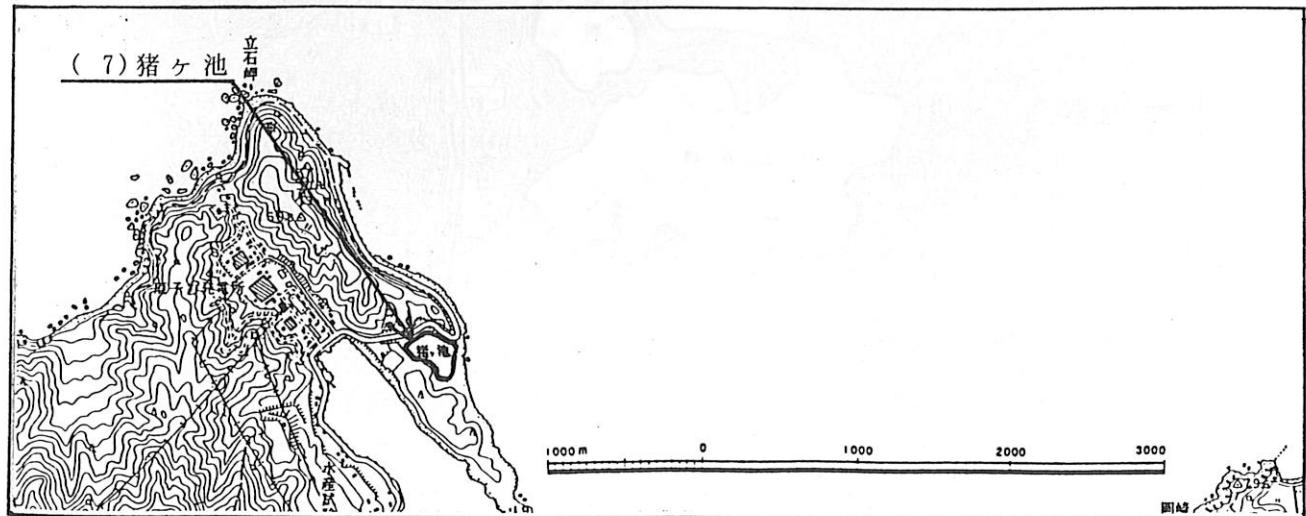
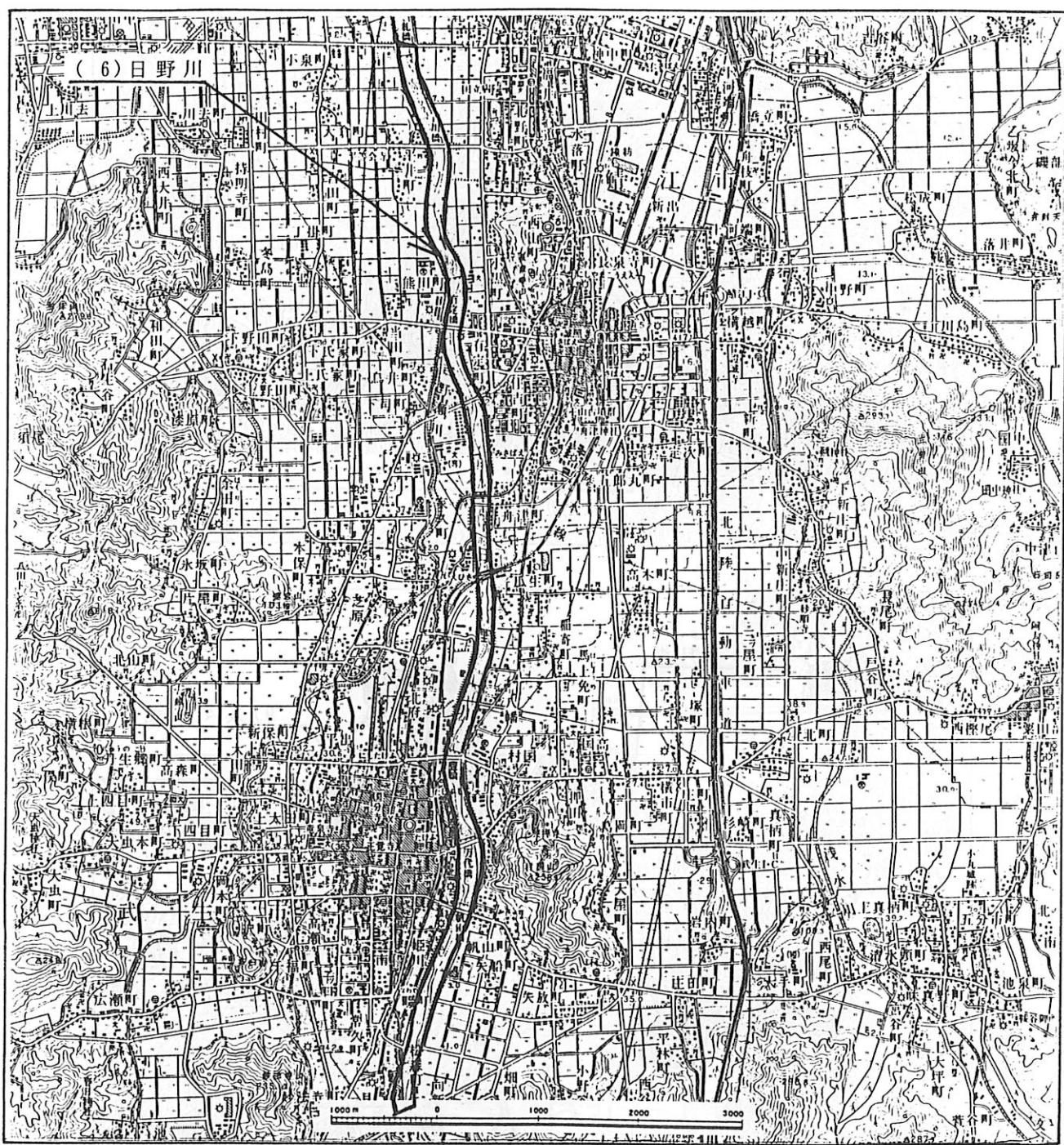


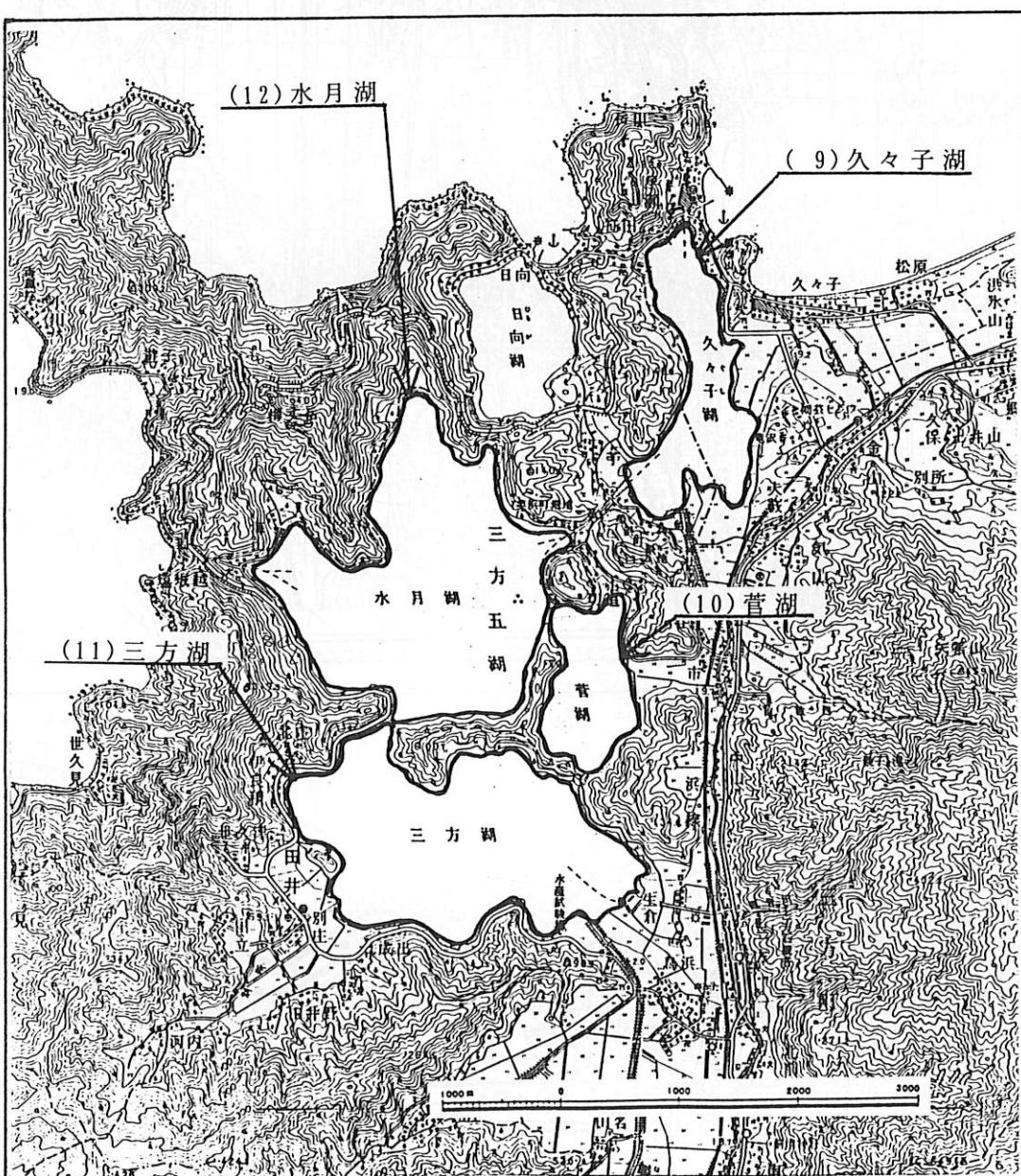
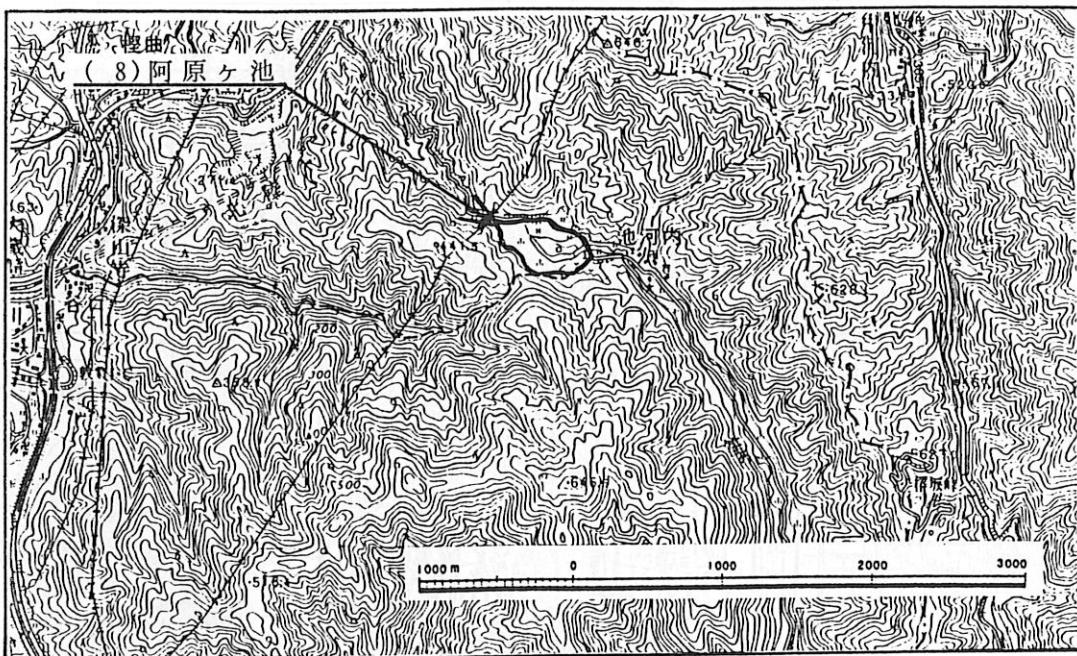
第2図

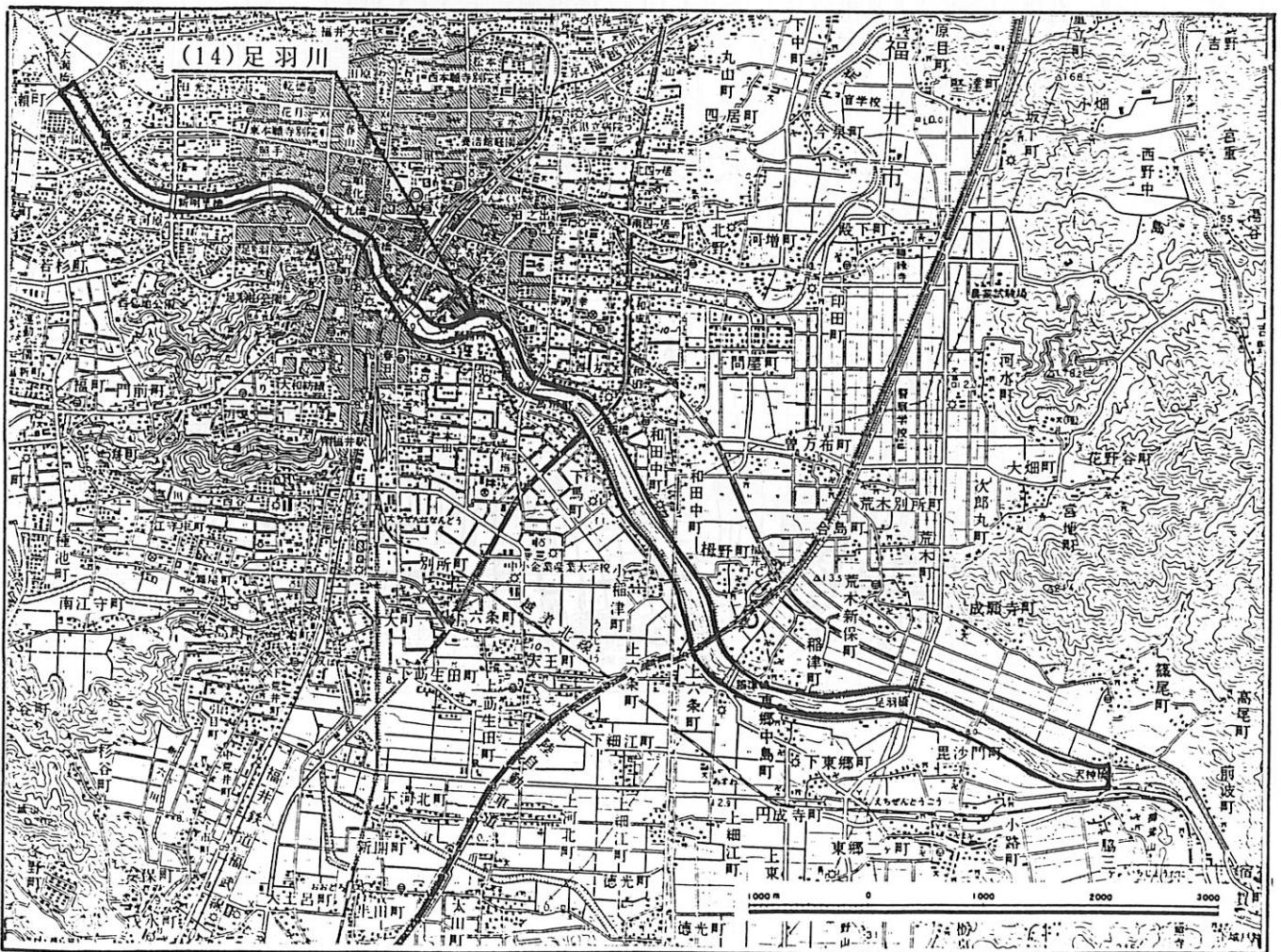
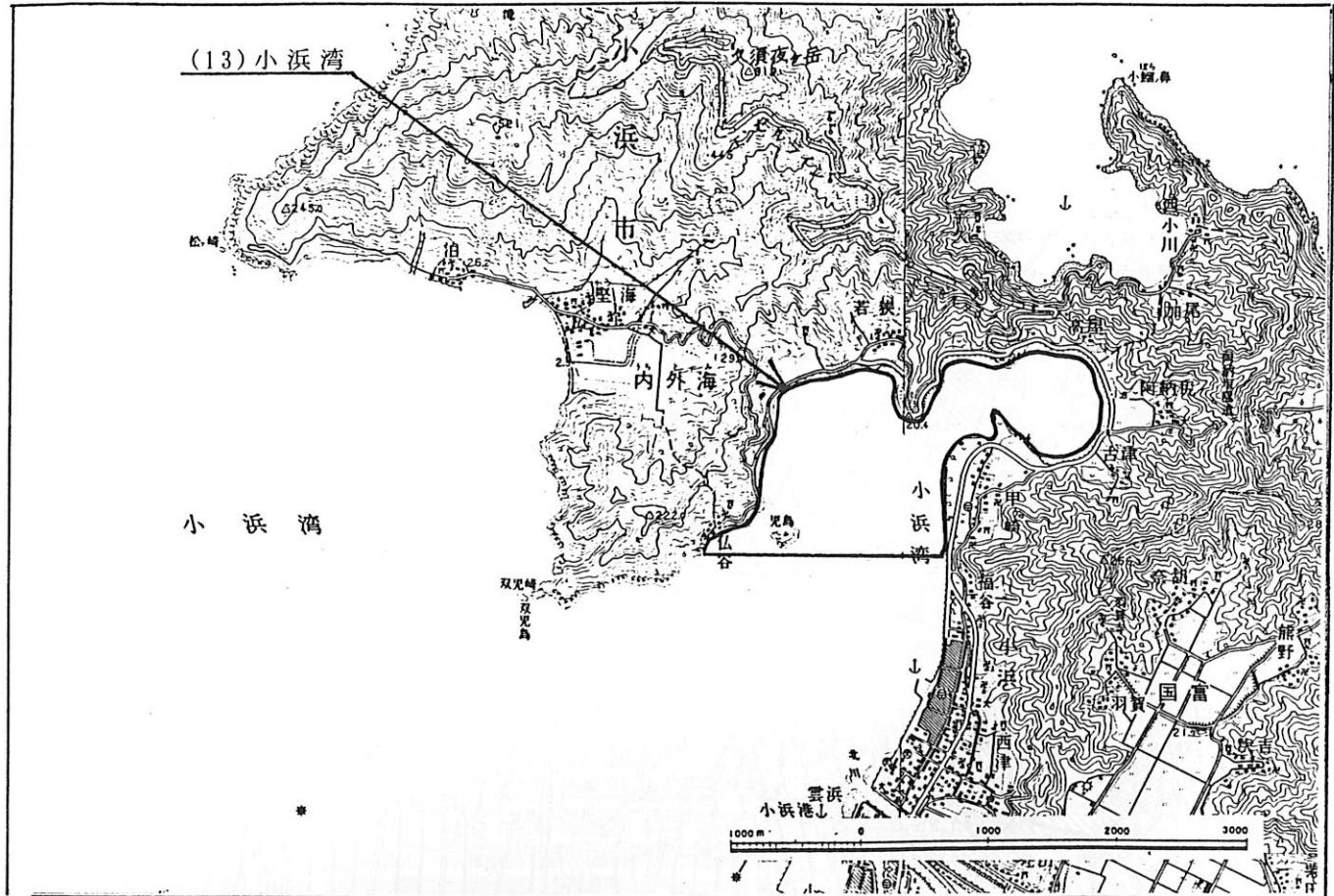
調査地地図









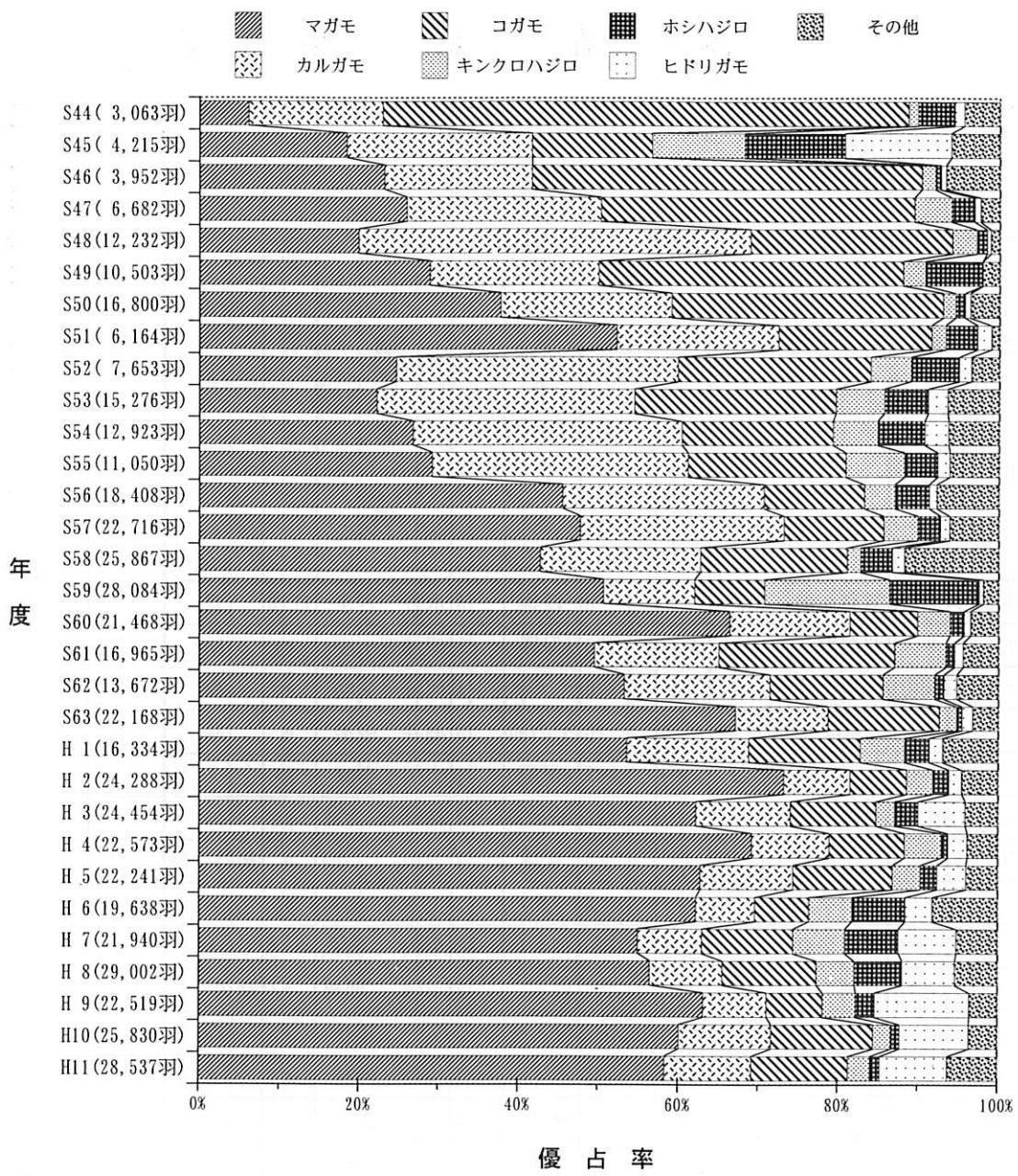


(16) 坂井平野



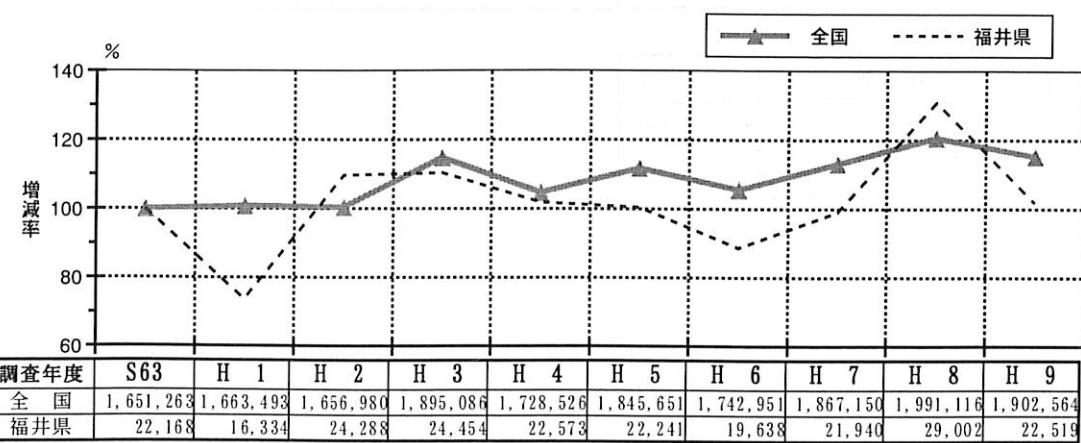
第3図

カモ類の優占率の経年変化



第4図

カモ類個体数の経年比較 (昭和63年度=100)



第1表

調査結果表

番号	調査地				調査面積ha	鳥獣保護区等の区分	調査員	調査員代表	天候	ガン類		ハクチョウ類	オシドリ	
	郡市	町村	地名	地況						マガソ	ヒシクイ			
1	坂井郡	芦原町	福良ヶ池	池	3	銃禁	3	水野 吉彦	1/16	曇		16		
2	"	"	北潟湖	湖沼	230	保護	5	組頭五十夫	"	晴	126	16		
3	"	三国町	大堤	池	9	"	3	河野 文明	"	曇				
4	"	"	九頭竜川河口流域	河川	20	その他	3	酒井 敬治	"	晴	446	26		
5	福井市	福井市	九頭竜川中流域	"	307	保護	4	土田 孝幸	"	"				
6	武生市・鯖江市	日野川	"	220	銃禁	11	納村 力	"	"			13		
7	敦賀市	敦賀市	猪ヶ池	池	6	保護	3	吉田 一朗	"	曇時々晴			4	
8	"	"	阿原ヶ池	"	8	"	3	上木 泰男	"	"			10	
9	三方郡	美浜町	久々子湖	湖沼	140	"	3	堀田 高久	"	"				
10	"	三方町	菅湖	"	92	"	3	小嶋 明男	"	晴のち曇			1	
11	"	"	三方湖	"	358	"	3	辻 義次	"	曇				
12	"	"	水月湖	"	423	"	3	川崎 大輔	"	"				
13	小浜市	小浜市	小浜湾	海面	650	銃禁	3	井尻 雅己	"	晴のち曇				
14	福井市	福井市	足羽川	河川	100	"	8	柳町 邦光	"	晴				
15	"	"	福井新港	海面	140	"	3	鈴川 文夫	"	曇				
16	坂井郡	坂井町	坂井平野	平野	7,200	その他	10	柳町 邦光	1/9	"	1,458	50		
合計				9,906		71					2,030	108	13	15

内訳	鳥獣保護区	9ヶ所
	銃獵禁止区	5ヶ所
	その他	2ヶ所

(平成11年度ガバウム科鳥類生息調査 実施日 平成12年1月9日、16日)

カモ類																		合計		
マ ガ モ	カ ル ガ モ	コ ガ モ	ト モ ガ モ	ヨ シ ガ モ	オ カ ヨ ガ モ	ヒ ド リ ガ モ	ア メ リ カ ヒ ド リ	オ ナ ガ ガ モ	ハ シ ガ ガ モ	ホ シ ハ ガ ロ	キ ン ジ ロ	ス ズ ハ ジ ロ	シ ノ ク ガ モ	ホ オ ガ ガ モ	ミ コ ジ ロ	カ ワ ア イ サ	カ モ 類 不 明 種	(種数) (羽数)		
132		1															3	149		
1,322	331	231		4	2	323				4	1			1	12		12	2,373		
1,680	10	346	44	24				14									6	2,118		
																	2	472		
1,096	688	606	1		18	46		3								7	8	2,465		
3,538	651	914	27	4	2	380		452	43	2					3	11	13	6,040		
259	43		10					2			17				5		7	340		
37		49														1	3	97		
305	242	41			3	11			132	294	26						9	1,055		
3,512	1	29	6	6	24	199		28		23	33	29				3		13	3,894	
292	327	711		25	4	105			5	49	180	1			12	5		12	1,716	
1,705					56	22			25	261	1				1	3		8	2,074	
1,355	45	85	5	3		272		19	4	158		461	1					11	2,408	
1,019	597	425	1		11	429	1	179	35	3						3	31		12	2,734
410	158	26		1		631		19										6	1,245	
																	2	1,508		
16,662	3,093	3,464	94	67	120	2,418	1	716	87	396	786	518	1	15	34	49	1	21	30,688	

第2表

ガンカモ科以外の鳥類

番号	場所 種名	福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井新港	坂井平野	合計
1	アヒ'																	1
2	カイツブリ'	3	8		2		7	1		7	3	10	3		19			63
3	ハジロカイツブリ'		3							12	5	41	12	2				75
4	カンムリカイツブリ'	20		4	1	2	1			15	1	120	151	7		3	1	326
5	アカエリカイツブリ'															1		1
6	カワウ	5	102	17	39	11	56	6		22	1		8	8	16		3	294
7	ウミウ											28				3		31
8	ダイサキ'	1					16					1				2		20
9	コサギ'	5		1										1				7
10	アオサギ'	1	6		1	1	18	1		2	1	1	2	1	10			45
11	コ'イサキ'							2										2
12	ミサゴ'	3								1			1					5
13	トビ'	5		6	5	5	3		21	2	5	13	1			2		68
14	オシロワシ										1	2						3
15	ハイタカ						1									1		1
16	オオタカ						2				1					2		4
17	ノスリ					2	4				2					2		10
18	チョウケンボウ'			2	2											1		5
19	キジ'						2											2
20	ハ'ン	1					1					5						7
21	オオハ'ン						2	1			9	4						16
22	イカルチトリ'					2												2
23	イソシキ'			6										1				7
24	アオシキ'							2										2
25	ハマシキ'													68				68
26	ユリカモメ	1						1		11			3	1				1
27	セグロカモメ			2					25			27		11				65
28	カモメ													1				1
29	ウミネコ													1	18		1	128
30	キジハ'ト		7	40	58		3				1							1
31	コミミズク														1			3
32	カワセミ					2				2								2
33	アカゲ'ラ								1									1
34	アオゲ'ラ																	1
35	コゲ'ラ												1					1
36	セグロセキレイ	2				5		1	3	1	21			1	11	1	1	47
37	ハクセキレイ		1		5										2	1		9
38	ヒヨトリ'		1		10	8	19	5	3			2	1	3				52
39	モズ'	2	3	12		1								2		1		21
40	ミソサザイ								2									2
41	シロハラ							1	2				5		25			3
42	ツグミ	3	3	6	36		9											87
43	ルリビ'タキ						1	2										3
44	ショウビ'タキ					8	1						2		1			12
45	ウグイス				1	3				1					1			6
46	エナガ'					5	1							3				6
47	ヒガ'ラ												2					3
48	ヤマガ'ラ						1	2				2		1				6
49	シシ'ュウカラ					5		1	3			3	1	1				14
50	メジ'ロ							1				5			1			7

番号	種名	場所		福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井新港	坂井平野	合計
		福良ヶ池	北潟湖	大堤	九頭竜川河口域	九頭竜川中流域	日野川	猪ヶ池	阿原ヶ池	久々子湖	菅湖	三方湖	水月湖	小浜湾	足羽川	福井新港	坂井平野			
51	ホオシ'ロ						1	10		4	5	15	2	1	9				47	
52	カシラダ'カ							5		2					3				10	
53	アオシ'							2			2								4	
54	カワラヒワ						2	1	2		4			1	113		1		124	
55	マヒワ								50										50	
56	アトリ							15											15	
57	シメ						5	16							5				26	
58	イカル								4										4	
59	スズ'メ	200		170	140	150				3		75		1	18		1		758	
60	ムクト'リ			68		8								61		1			138	
61	カケス												1						1	
62	ハシボソガ'ラス			10		14			2	13	2		13		7	2	1		64	
63	ハシブトガ'ラス	15				2				2	2	11	6	1			1		40	
	カラSP				10														10	
	合計	9	377	17	317	226	490	36	101	149	54	347	250	35	407	15	13		2,843	

第3表

ガンカモ科鳥類生息調査年度別集計表

種名	年度		S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57
	調査実施年		1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983
1 コガシ																
2 マガシ				130						8				203		
3 ヒクイ																
4 ハクガシ																
不明種							58					30			1	
小計			130				58			8		30		203	1	
5 オハクチョウ																
6 コハクチョウ		4					1									
小計		4					1									
7 アカツシガモ									1							
8 オンドリ		18	168	100	50	51	51	84	33	48	110	65	64	18	15	
9 マガモ		187	776	915	1,736	2,436	3,033	6,345	3,220	1,887	3,394	3,643	3,226	8,375	10,842	
10 カガモ		516	980	731	1,625	5,994	2,219	3,573	1,245	2,695	4,930	4,338	3,531	4,629	5,775	
11 コガモ		2,012	631	1,923	2,612	3,082	3,989	5,700	1,178	1,845	3,839	2,447	2,186	2,320	2,842	
12 トモガモ		60		2	19	25	3	100	1	4	18	9	14	6	7	
13 ヨシガモ		57	84	19	26	2	5	23		13	38	79	75	40	26	
14 オヨシガモ					3			4		2				12	20	12
15 ヒトリガモ		37	560	25	49	59	5	110	109	116	374	386	172	177	266	
16 アメリカヒドリ																
17 オガカガモ				1	6	22	24	25	11	15	487	271	8	560	297	
18 ジマジ																
19 ハシビロガモ					2	3	92	115	5	2	18	5	9	19	23	
20 アカハシハシロ			1													
21 オシハシロ		141	528	27	188	157	751	197	242	458	837	762	455	786	629	
22 キンクロハシロ		35	486	67	312	371	288	263	109	385	925	716	807	699	972	
23 スズガモ					12	10			4	98	195	120	387	616	904	
24 カロガモ										3	6		7	3		
25 村ジカガモ				1			5	3	1	47	21	32	24	32	30	
26 ピロードキンクロ																
27 シノリガモ																
28 ミコトイサ				19	3	2	22	35	1	26	66	35	44	43	40	
29 カニアイサ									6		2	4	2	9	2	
30 カブトイサ			1	22	9	9	6	2	5	7	11	13	20	63	36	
不明種				100	30	9	10	214			3					
小計		3,063	4,215	3,952	6,682	12,232	10,503	16,800	6,164	7,653	15,276	12,923	11,050	18,408	22,716	
合計		3,067	4,345	3,952	6,682	12,291	10,503	16,800	6,172	7,653	15,306	12,923	11,253	18,409	22,716	
調査箇所		6	12	12	16	14	11	14	9	9	13	12	12	11	11	
備考 調査面積 ha		1,198	2,481	2,284	3,400	2,725	2,725	2,677	1,395	2,184	2,273	2,268	2,268	2,218	2,218	
調査人員		22	35	42	74	78	59	83	46	33	32	35	21	32	36	

S58	S59	S60	S61	S62	S63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10	H11
1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
														1		
	2	260	2			87	720	130	1,650	1,295	582	1,003	1,200	1,081	2,030	
	133	18		86	140	103	62	199	8	319	6	181	293	547	108	
								150					1	1	1	
	135	278	2	86	140	190	932	329	1,658	1,614	588	1,185	1,498	1,633	2,138	
	1	4				14	34	12	48	1	2	9	17	23		13
	1	4				14	34	12	48	1	2	9	17	23		13
84	28	45	37	17	10	2	2	14	11	6	15	8	58	17	10	15
11,059	14,232	14,254	8,402	7,282	14,884	8,758	17,780	15,215	15,620	13,957	12,217	12,067	16,385	14,226	15,536	16,662
5,162	3,175	3,231	2,624	2,485	2,571	2,477	2,020	2,888	2,201	2,584	1,452	1,748	2,623	1,785	2,986	3,093
4,762	2,457	1,815	3,739	1,936	3,083	2,289	1,718	2,633	2,122	2,773	1,335	2,509	3,435	1,589	3,298	3,464
51		32	9	5	179	3	13	4	4	14	45	15	9	27	13	94
67	58	40	14	15	60	18	2	12	18	16	10	33	23	24	27	67
31	9	7	12	14	27	55	27	83	141	157	112	77	132	69	49	120
390	153	170	181	223	294	275	382	1,443	543	795	664	1,587	1,919	2,659	2,230	2,418
						1										1
1,368	115	244	135	71	272	278	49	247	254	371	216	239	559	330	313	716
1		2														
11	4	7	3	3	1	12	6	26	1	7	7	12	28	82	29	87
				1												
1,028	3,144	374	177	154	150	509	501	712	191	471	1,303	1,466	1,740	534	287	396
422	4,395	871	1,092	885	479	899	791	566	1,037	775	1,061	1,432	1,370	933	570	786
1,349	182	262	355	221	73	347	631	479	310	246	603	652	649	139	368	518
								1								
33	48	23	11	10	14	32	9	39	19	18	11	22	2	24	26	15
													1			
																1
45	40	84	77	81	53	67	37	72	67	38	24	29	56	65	54	34
		2				2										1
4	42	2	5	12	12	10	6	13	34	13	3	11	13	16	33	49
		5	92	257	6	300	314	7			560	33				1
25,867	28,084	21,468	16,965	13,672	22,168	16,334	24,288	24,454	22,573	22,241	19,638	21,940	29,002	22,519	25,830	28,537
25,867	28,085	21,607	17,243	13,674	22,254	16,488	24,512	25,398	22,950	23,900	21,254	22,537	30,204	24,040	27,463	30,688
11	11	11	11	11	13	13	13	13	13	13	13	13	16	16	16	16
2,218	2,418	2,418	2,418	2,418	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	2,446	9,886	9,906	9,906	9,906
53	47	52	59	58	45	45	59	62	59	54	55	52	96	84	67	71

あとがき

今回の調査は、各調査地とも経験豊富で識別力の優れたメンバーで構成し、数多くの成果を収めた。調査記録は保存し、今後の鳥類生息状況調査の資料として重要な役割を果たすものと確信する。

調査協力者

已男郎輔郎	男義一	一子夫憲	男貴彦	光二
雅泰二	大宗明重	孝剛	憲艶和	浩育
木本崎上嶋	烟崎井田口内田川	田野町間	雅吉邦	準
尻木本	保久小古白瀬多谷坪成早堀水柳	樂		
上榎川	岡田山中田村前田			
井上榎川	久小古白瀬多谷坪成早堀水柳	樂		
尻木本	保久小古白瀬多谷坪成早堀水柳	樂		
木本崎上嶋	烟崎井田口内田川	田野町間		
利崇夫	明治子	治郎子	榮幸美子	久幸也朗
秀正角	圭き	梓	千敬一	
木堀野橋見野嶋	藤川戸中	木野村頭野嶋井本橋口	田山中田村前	
大勝河	辻林中	木野村頭野嶋井本橋口	田山中田村前	
小斎鈴瀬	中堀屋下	木野村頭野嶋井本橋口	田山中田村前	
田辻中		木野村頭野嶋井本橋口	田山中田村前	
中畠早		木野村頭野嶋井本橋口	田山中田村前	
三山		木野村頭野嶋井本橋口	田山中田村前	

(順不同敬称略)

編集：(財)日本野鳥の会福井県支部

〒915-0801 福井県武生市家久町111-33

TEL 0778-21-3036 (高橋方)

発行：福井県自然保護センター

〒912-0131 福井県大野市南六呂師169-11-2

TEL 0779-67-1655